

# リデュース ヨコハマ R 委員会 第 11 回全体会議

日時：平成 28 年 3 月 11 日(金)

14：00~15：30

場所：松村ビル本館地下 1 階会議室

出席委員：18 名

## 1 開会あいさつ（3 R 推進課長）

当委員会も 11 回目を迎えた。この間、市民の方からリデュースに関する様々な取組の御提案をいただいていたが、近年は少し減少してきている。また、リデュースの取組については、市民の間で少しずつ浸透してきている。これらの背景を受け、当委員会の役割も変わってきていると感じており、後ほどの議題の中で御提案させていただく。

## 2 委員長あいさつ（委員長）

本日は当委員会の進め方について皆さんにいろいろ討議していただく大切な会議。よろしくお願ひしたい。

## 3 委員紹介（事務局）

- ・委員欠員の報告（神奈川県生活協同組合連合会 委員退任に伴う後任選出までの間の欠員）

## 4 議事

### (1) ペットボトル・プラスチック容器包装 より良いリサイクルと 3 R

「第 12 回市民・自治体・事業者の意見交換会 in ヨコハマ」について

- ・委員より資料 1 のとおり説明

### (2) 「リユース食器」利用実績等について（報告）

- ・委員より資料 2 のとおり報告

#### 【主な質疑応答・意見】

委員長：調査した 40 団体は新規に使った団体か、それとも継続して使っている団体か。

事務局：継続して使用している団体。また、ほとんどが「継続して利用する」と答えているが、「迷っている」と答えた団体には丁寧にフォローしていく。

委員：価格と食器の種類はどんなものがあるのか。

委員：パンフレットに記載してあるとおり。

委員：洗浄して返却した場合は、次の人がそのまま使うのか。

委員：基本的にはそういう形だが、より衛生面で配慮して当公社において簡単に洗浄している。

委員：衛生管理の面で管理基準があるのか。管理のルールとデータにおける安全チェックが必要ではないか。

委員：検査については、衛生面についてはかなり厳しくやっている。ご指摘の点については、今後どうするかを検討させていただく。

委員：リユース食器を扱っている業者はたくさんあるのか。

委員：リユース食器ネットワークという組織があり、日本全国レベル。横浜市内では、当公社と

もう一社、青葉区で民間企業が行っているの、横浜では二つのグループが取り扱っている。

委員：食器の衛生というのは、飲食で非常に重要なことであり、横浜市でも食品衛生の部署と相談をして、貸し出しや洗浄の仕組みづくりをもう一度考えることをお勧めしたい。

### (3) ヨコハマR委員会の今後の活動と方向性について

・「ヨコハマR委員会の運営方法の見直し」について、事務局より資料3のとおり説明

#### 【主な質疑応答・意見】

委員長：年3回開催することだが、具体的に何をやるかイメージはあるのか。

事務局：本市事業の進め方に対する助言をいただいたり、会議開催前に委員からの報告・提案事項などを取りまとめて議題に盛り込んでいくことを考えている。

委員：委員の皆さんが具体的にどんな活動をしているのか、どんなイベントがあるのか、情報を提供していただきたい。市と連携した取組について紹介するとか、他の委員の参加を促すような場とすることはできないか。

事務局：そのような場としていきたいと考えている。

委員：各団体のイベントや取組の情報共有の方法として、メールと郵送で随時発信できないか。

事務局：対応可能。

委員：リデュースは全国的に取り組んでいることだと思うが、(公財)廃棄物・3R研究財団のメールマガジンで、行政や民間、市民団体の取組を発信している。これをピックアップして委員に情報提供したらどうか。

事務局：調べて改めて対応する。

・委員提案への対応について、事務局より資料4のとおり説明

#### 【主な質疑応答・意見】

委員：作成規模(予算・量)のイメージは？他の委員にも意見をもらった方がよい。月間リサイクルデザインに掲載されているレシピとは違った視点で、食材の使い方がわかるものを作りたい。タイトスケジュールなので、どこまで協力できるかわからないが、いいものを作りたい。

事務局：イメージについては今後すり合わせをしながら考えたい。良い物を作りたいという思いは同じなので、是非意見交換をしながら作成したい。

委員：予算はどれくらいついているのか。

事務局：10万円ぐらいであれば良いと考えているが、まずはどんなものを作るのか意見をいただいて、予算についてはその後工夫しながら対応したいと考えている。

委員：知人にシェフがいるので、市民が考えたものをプロに見ていただいて発行するというのも良いかと思う。

委員長：食品ロスを出さないためには、食材の食べ方はもちろん必要だが、買い方、保存の仕方なども必要ではないか。委員の中には流通やパッケージの専門家がいるので意見をもらいながら掲載していくと良いと思う。

委員：買い物・保存・調理は三位一体。特に保存の部分では包装技術という観点から御協力ができる。

委員長：流通にも戦略があって旬の食材のメニュー開発などをしながら売場づくりをしていると思

う。そういう情報を分かり易い表現でコラム的に載せていくと良い。この委員会のネットワークを最大限活用すれば、他にはない特色あるものが出る。

#### (4) その他情報提供等

委員：「冷蔵庫 10・30 運動」について出前講座などで紹介しているが、反響が大きい。手つかず食品の写真や金額の例えが分かり易い。チラシをいただいたが、既になくなった。今後も配布していきたいので在庫があればいただきたい。また、このチラシの裏面を活用し、先ほど議論した内容を掲載するのも良いと思う。

### 5 連絡事項

- ・事務局より席上配布の次期委員の推薦書類の取扱いについて説明。

### 6 閉会あいさつ（企画調整担当部長）

- ・本日はこの委員会の運営方法や次年度のリーフレットづくりについて提案させていただいたが、委員の皆様からは事務局では気づかないご意見があった。共通する点は「相乗効果」だと思う。皆様がいろいろな立場から意見を出し合ってより良い物を作る、そういうことが大事なことだと思う。

- ・1月の廃棄物の横流し事件の報道では、食品廃棄物の多さを知っていただくきっかけになったと思う。市民の皆様には引き続き食品ロス削減に向けた取組を呼びかけていきたい。

- ・この3月で今期委員の任期が満了となる。2年間ありがとうございました。

# 第11回

## ヨコハマ <sup>リデュース</sup>R 委員会 全体会議

日時：平成28年3月11日(金)  
午後2時から  
場所：松村ビル地下1階会議室

### 次 第

- 1 開会あいさつ
- 2 委員長あいさつ
- 3 委員紹介 【委員名簿】
- 4 議事
  - (1) ペットボトル・プラスチック容器包装 より良いリサイクルと3R  
「第12回市民・自治体・事業者の意見交換会 in ヨコハマ」 【資料1】
  - (2) 「リユース食器」の利用実績等について (報告) 【資料2】
  - (3) ヨコハマR委員会の今後の活動と方向性について
    - ・ヨコハマR委員会運営方法の見直しについて 【資料3】
    - ・委員提案への対応について 【資料4】
  - (4) その他情報提供 等
- 5 連絡事項  
委員の推薦依頼について
- 6 閉会あいさつ

# ペットボトル・プラスチック容器包装 より良いリサイクルと3R

## 「第12回市民・自治体・事業者の意見交換会inヨコハマ」

ペットボトル・プラスチック容器包装を分別している市民の皆様、収集している市町村、容器包装の製造メーカー・食品メーカーや石鹼洗剤メーカーなどの事業者による、『意見交換会』を開催いたします。

リサイクル・3Rに関する疑問や課題を出し合い、自治体の取り組みの実情に照らし合わせ、より良いリサイクル・3Rのあり方や容器包装の環境配慮設計について、日頃皆様が感じておられることを出して頂き、話し合いましょう。

ヨコハマ委員会の活動の一助とするとともに、日頃リデュースの活動をしている各団体の皆様にご参加いただくことで、連携・協働の環を拡げていきたいと思っております。

主催：PETボトルリサイクル推進協議会  
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

共催：ヨコハマR(リデュース)委員会  
横浜市



■ 日 時： 2016年3月 30日(水) 13:00～16:45 (受付開始12:30～)

■ 会 場： 横浜市開港記念会館 1号室

横浜市中区本町1丁目6番地 TEL: 045-201-0708

■ 申し込み締切： 2016年3月23日(水)



### プログラム

#### 1. ご挨拶

13:00～13:05 ヨコハマR委員会事務局 鈴木 一博  
(横浜市 資源循環局企画調整担当部長)

#### 2. 取り組み報告

13:05～13:25 1) 自治体：一ごみの減量・リサイクルの啓発・働きかけー  
横浜市家庭系対策部業務課  
分別・リサイクル推進担当課長 服部 敬久

13:25～13:45 2) 市民：一まずは体験！子育て支援の取り組み事例ー  
よこはま一万人子育てフォーラム 坂本 寿子

13:45～14:05 3) 事業者：一容器包装の3Rと環境配慮設計ー  
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会  
専務理事 久保直紀

#### 3. 分科会

14:20～16:20 PETボトルとプラスチック容器包装について日頃疑問に  
思うことや、問題点と感ずること、要望などをグループに  
分かれて 話し合います。

16:20～16:40 各分科会まとめ報告



#### アクセス：

- 横浜市開港記念会館
- ・みなとみらい線 日本大通り駅  
出口1～徒歩1分
- ・JR 関内駅 南口～徒歩10分

#### 申込み：

E-Mail : info@pprc.gr.jp  
FAX:03-5521-9018

#### 問い合わせ：


プラスチック容器包装リサイクル  
推進協議会  
事務局 (担当:野口)  
TEL:03-3501-5893

宛 先 : プラスチック容器包装リサイクル推進協議会  
 F A X : 03-5521-9018

2016年3月30日 開催 **参加申込書**  
**ペットボトル・プラスチック容器包装**  
**より良いリサイクルと3R**  
**『第12回 市民・自治体・事業者の意見交換会 in ヨコハマ』**

下記枠内お1人様1枚でご記入お願いいたします。

3月23日 締切

ご氏名	フリガナ			
該当するところを ○で囲んでください。	市民〔団体〕	自治体関係者	企業〔団体〕	
ご所属	自治体名・団体名・企業名			
	所属・部署			
ご住所	(〒            -            )			
ご連絡先	T E L: F A X: E-mail Address:			
PETボトルと プラスチック容器包装で、特にご関心のあ る項目 1.～10. に○ を付けてください。 (複数選択可)	リサイクル・3R		容器包装の環境配慮設計	
	1.	3R(リデュース・リユース・リサイクル)全般	6.	容器包装の役割
	2.	リサイクル分別・排出の仕方	7.	容器包装の3R事例と状況
	3.	リサイクル手法と流れ	8.	 の表示について
	4.	リサイクルでできた最終製品	9.	材質(単一・複合素材)について
	5.	リサイクルに関わる費用対効果	10.	容器包装の分別しやすさ
当日の意見交換で取り上げて欲しいこと、ご意見、ご質問なんでも結構ですからご記入ください。				
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span><b>懇親会</b></span> <span>参加      不参加</span> <span>(どちらか○を付けてください)</span> </div>				

平成 28 年 3 月 1 日

ヨコハマ R 委員会全体会議資料

公益財団法人横浜市資源循環公社

## リユース食器の利用実績等について（報告）

## 1 利用実績

## (1) 貸出及び洗浄請負

実績	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度※1
件数	4	47	86	69	86	75	83	90	68
貸出数	4,773	37,409	87,188	98,804	113,989	158,380	146,182	136,700	110,255
洗浄※2	—	—	—	—	159,240	35,339	126,535	159,759	166,817
合計	4,773	37,409	87,188	98,804	273,229	193,719	272,717	296,459	277,072

※1 2月29日現在の実績

※2 洗浄：23年度→日産スタジアムリユースカップ洗浄請負業務

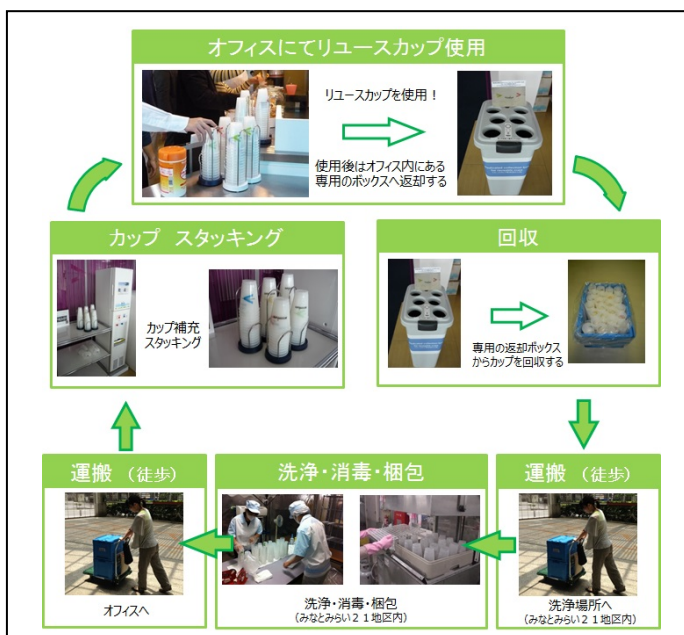
24年度～27年度→オフィスで使用されるリユースカップの洗浄請負業務

## (2) 水道局との協働PR（サービスセンターが行う出前水道教室でのリユースカップの利用）

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度※3
戸塚・泉	21校 2,000個	23校 3,006個	23校 1,998個	25校 2,388個	22校 1,808個
鶴見・神奈川	—	20校 1,638個	21校 1,856個	18校 1,572個	29校 2,166個
中・南	—	9校 3,211個	10校 2,443個	11校 826個	15校 1,334個
合計	21校 2,000個	52校 7,855個	54校 6,297個	54校 4,786個	66校 5,308個

※3 2月29日現在の実績

## オフィスで使用されるリユースカップ（フロー）

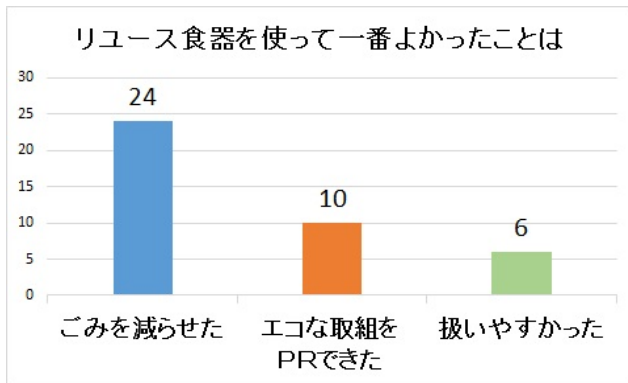


## 出前水道教室

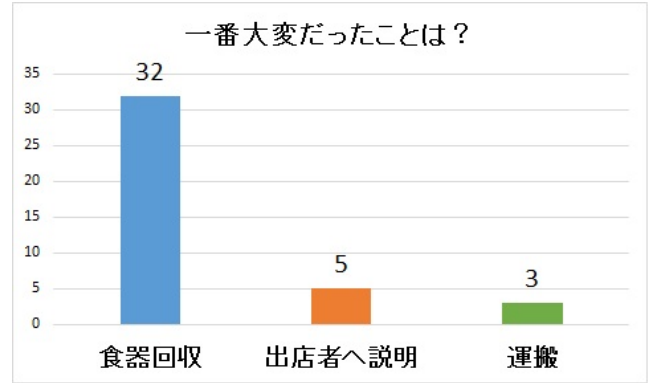


## 2 アンケート調査結果について

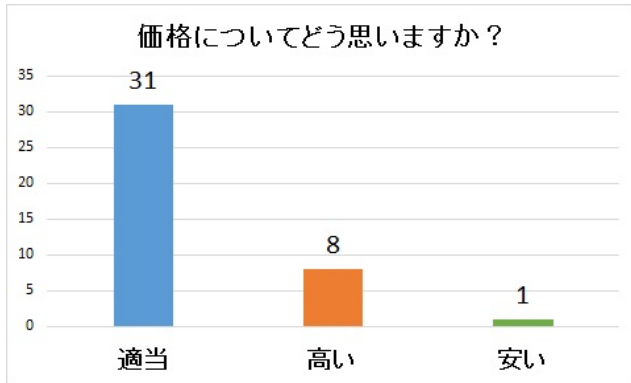
(1) 26年度に利用した団体へ調査を実施。(調査数：40団体 平成27年1月から3月実施)



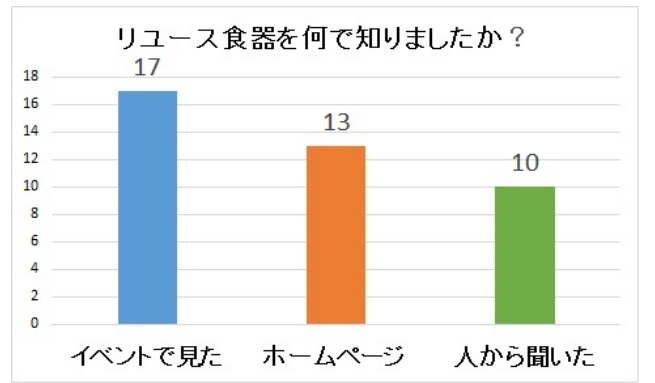
- ごみが減ったことが実感できた
- 来場者に好評であった
- 啓発パネルがあるとありがたい



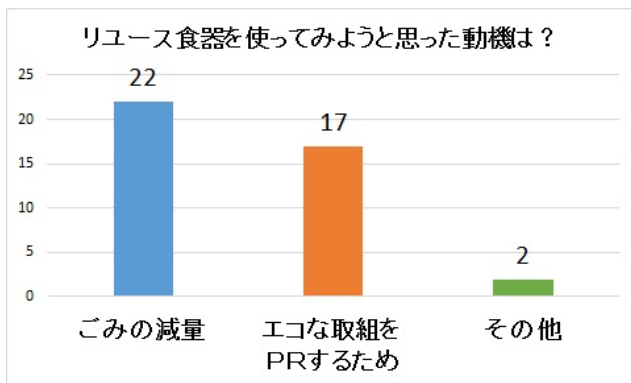
- 捨てられてしまう
- 持ち帰ってしまう
- 重い、保管場所も必要



- 適当な価格設定である
- 利用回数により割引があるとよい
- 売値に上乗せして販売した



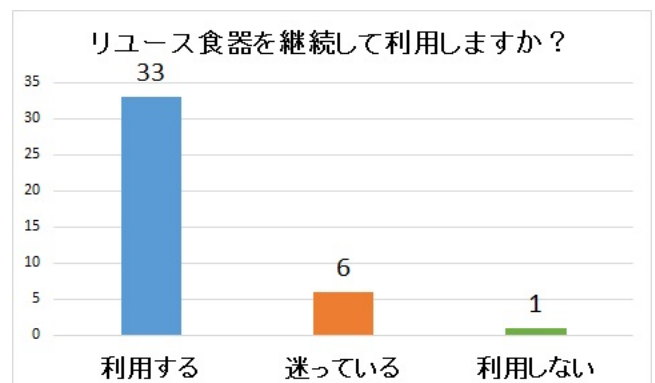
- 区民まつりで知った



- イベントごみの分別が大変だったので利用した
- 余った容器を保管しなくて済むから

【その他】

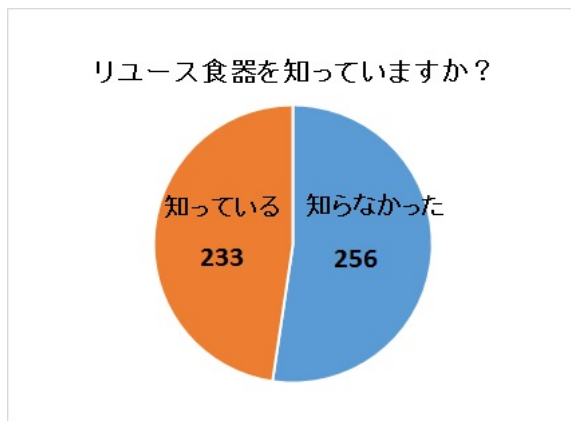
- リユース食器にあったメニューを考案してほしい
- 色違いの食器がほしい
- 土日の食器受渡窓口がほしい



- 正直大変だが、ごみを減らせた実感がある(継続理由)
- 来年の担当者が、手間と費用をどう考えるかで決まる(迷う理由)



(2) リユース食器の認知度を調査（市内イベントへの啓発出展時 実施：5回 総数：489人）



### 3 PR活動実績

(1) イベント出展でのPR活動 29回（平成28年2月末現在）

例) 水道局と協働でのPR活動の様子



(2) 区民まつりへの出展PR 3回（瀬谷フェスティバル、戸塚区民まつり、栄区民まつり）

(3) パンフレット配布数 1,350部

(4) リユース食器導入の手引き配布数 890部

(5) みなとみらい地区の事業者を対象にオフィスへのリユースカップ導入PRを実施

※2月より新たに1事業者のリユースカップ導入が決定した。

### 4 その他

#### 《リユース食器利用者の利便性》

○継続して利用してもらうために、公社から『手間や費用を少なくできた事例』を紹介するなどアドバイスを行っていく。

#### 《リユース食器の認知度の向上》

○リユース食器の認知度を上げるために、イベントでの啓発、パンフレット配布及びホームページへのアクセス数を増やす等、PR活動を継続して行っていく。

#### 《オフィスで利用するリユースカップの増加促進》

○イベントへの貸出は年度や季節によって増減が出るので、年間を通じて使用してもらえるオフィスでのリユースカップ利用を、公社近隣のみなとみらい地区を中心にPR活動を更に推進する。

## ヨコハマR委員会運営方法等の見直しについて（案）

### 1 見直しの背景

当委員会は平成 22 年 10 月に設置され、この間、市民の皆様からご提案のありましたリデュースに関する様々な取組について支援を行ってまいりましたが、市民生活の中におけるリデュース行動は、委員会設置当初と比べるとかなり浸透し、取組メニューも増えました。

このような背景の中で、近年は、市民からの提案が減少してきた一方で、市民の皆様からの提案に対する支援だけでなく、現在行われているリデュース行動を更に普及・定着させていくことが求められています。そこで、今後は委員相互の情報交換や行政が進める事業への助言等にも力を入れた委員会運営をしていきたいと思えます。

### 2 見直しの内容

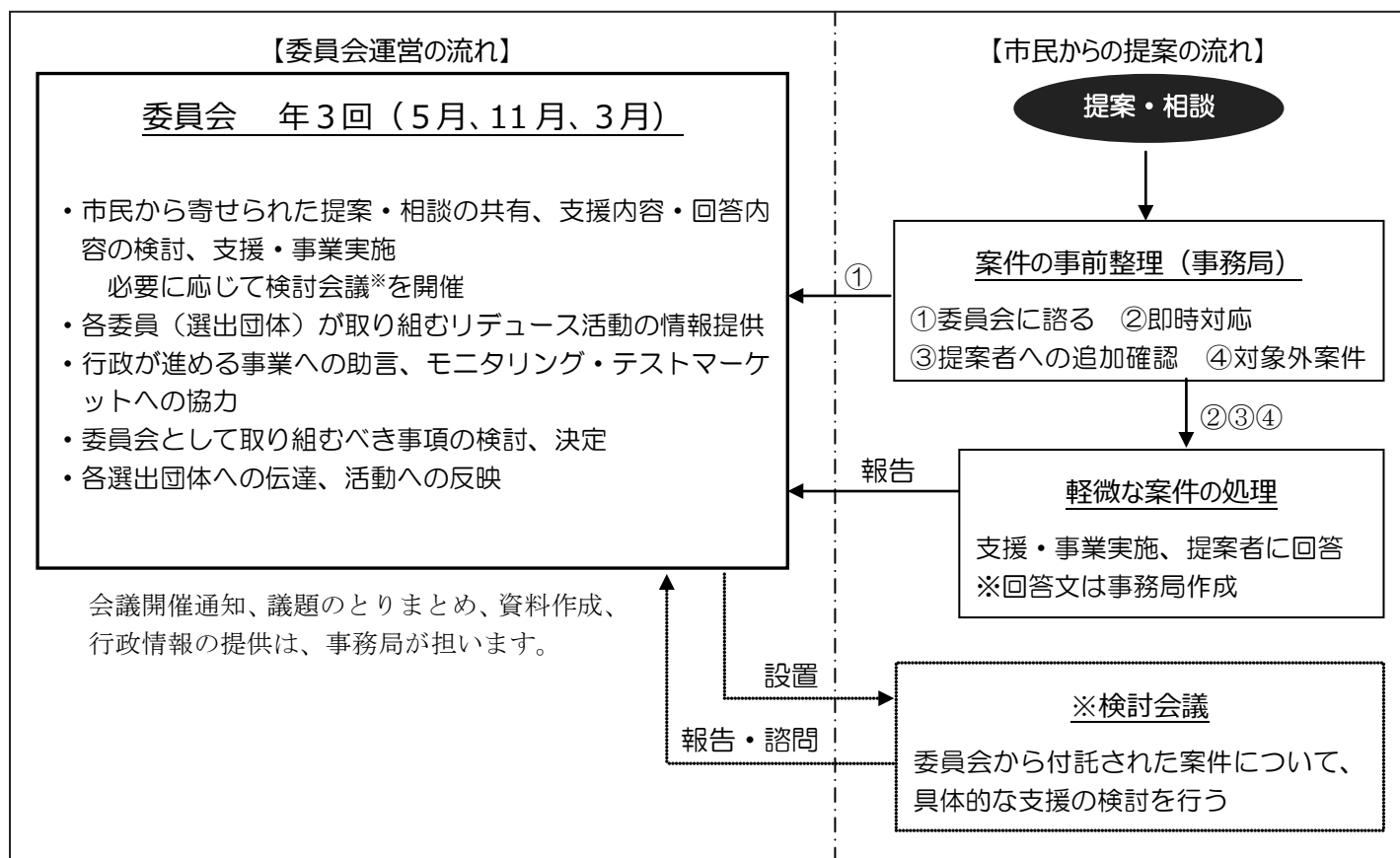
#### (1) 会議のあり方について

行政からの情報提供に加え、委員からの情報提供や相互の意見交換中心の内容に改め、それぞれの活動報告や議題提案がしやすいよう会議のあり方を見直すとともに、各委員が持ち帰った情報が各選出団体の活動に活かせるような会議運営にします。

#### (2) 各会議の整理統合と定例化

これまでは、全体会議・検討会議・プロジェクト会議など、役割に応じた会議を開催してきましたが、今後は定例の委員会での討議に一元化し、市民からの提案に対する支援を含めて専門的または継続的に検討を要する案件が生じた場合には、委員会の中から必要に応じてメンバーを選出し、検討会議を開催することとします。なお、検討会議の結果については、直近の委員会に報告・諮問することとします。

### 《見直しのイメージ》



## 食品ロス削減のためのリーフレット作成にかかる市民委員からの提案について

ヨコハマR委員会の市民委員4名の連名で「食品ロスにならない食べ方をテーマとしたリーフレットを作成するプロジェクト」について提案がありましたので、ヨコハマR委員会としての対応を以下のとおり事務局から提案します。

### 1 提案の内容等

- 提案者：渡邊委員、蟹沢委員、坂本委員、加藤委員（4名）
- 提案内容：野菜のまるごとの食べ方、レシピ、保存の仕方など、食品ロスにならない食べ方などのリーフレット作成をするプロジェクトの提案
- 対象者：若い方をターゲットにし、新米ママでも、これを見れば、野菜の使い方、食べ方がわかるようなものを作りたい。  
いつもキッチンの近くや、手元に置いておけるような可愛いらしいリーフレットを作成し、保存版として活用してもらいたい。  
また、若いママや若い女性に限らず、男性や他の年代の方にも見てもらえたらうれしい。
- 制作までの活動内容：渡邊委員のお知り合いの保土ヶ谷区の農家さんの話や、畑の見学、レシピに関する勉強も含め、情報を集めながら作業をしていく。

### 2 進め方

平成28年度の資源循環局予算において、御提案と同趣旨のレシピ作成費用が計上されましたので、今回の御提案は、委員から局の事業に御協力をいただいただく形で進めたいと考えています。

### 3 作成の流れイメージ

